

北海道の道路除雪に関する

緊急要望



本道では、12月上旬より、急速に発達した低気圧（通称：爆弾低気圧）による暴風雪・大雪が頻繁に発生し、道路の通行止めや鉄道、航空などの運休により、地域の生活や社会・経済活動などに多大な影響が発生する事態となっております。

このような状況の中、北海道並びに各市町村においては、道民生活の生命線である道路の交通を確保すべく、全力を挙げて除排雪にあたっているところではありますが、除排雪に要する経費が大幅に増嵩しており、財政を圧迫しております。さらに、今後も多くの降雪が予想され、道民生活の安全・安心が一層脅かされる事態も懸念される状況にあります。

このことから、次の事項について強く要望いたします。

- 1 除雪費の追加支援措置
- 2 市町村に対する財政支援措置（臨時特例措置等）

平成 27 年 2 月 10 日
北海道
北海道市長会
北海道町村会

緊急要望の概要

除雪費に対する支援

≫ 北海道における今冬の積雪は、道央圏、後志、オホーツク、道東地方において多雪となっており、また、人口集中地域で多い傾向にあります。

※積雪深さが平年比を超過している主な地点(2月4日現在)

・石狩+54cm(1.7倍)、小樽+30cm(1.3倍)、北見+31cm(1.6倍)、中標津+29cm(1.6倍)、根室+17cm(2.3倍)など

≫ 全道的には、12月から1月に爆弾低気圧による暴風雪が平年に比べ頻繁に発生し、除雪の出動が増加しており、札幌・小樽・旭川・網走・釧路管内での除雪出動日数は平年比で約1.1倍となっております。

≫ このような状況の中、1月末時点における除雪費執行額が大幅に増嵩しており、過去5か年平均の約1.2倍となっている状況であります。

≫ 今後も大雪や暴風雪が予想され、除雪費の更なる増嵩が懸念されることから、除雪費の追加支援措置および市町村に対する財政支援措置を強く要望いたします。

○近3か年(H24～H26)の12月～1月にかけて発令された暴風雪警報・大雪警報の地区数と爆弾低気圧の発生頻度の傾向

年度	単位:地区数			単位:事象数	
	暴風雪警報	大雪警報	暴風雪+大雪警報同時発令	内、2日間以上継続地区	爆弾低気圧
H24	27	6	2	1	2
H25	13	3	0	0	1
H26	19	10	6	2	5

○H26(1月末迄)の新雪除雪出動日数の傾向

建設管理部	新雪除雪作業					
	10cm以上の降雪日数			出動日数		
	1月31日時点現在《H26》 日	1月31日時点《5か年平均》 日	平年比	除雪作業出動日数《H26》 日	除雪作業出動日数《5か年平均》 日	平年比
札幌	24	19	1.26	66	60	1.10
小樽	21	19	1.11	68	63	1.08
函館	10	10	1.00	52	54	0.96
室蘭	5	6	0.83	50	52	0.96
旭川	29	27	1.07	72	67	1.07
留萌	13	17	0.76	61	62	0.98
稚内	14	15	0.93	67	65	1.03
網走	9	8	1.13	64	62	1.03
帯広	4	6	0.67	31	31	1.00
釧路	6	5	1.20	47	42	1.12